



園児と保護者が交通ルール学ぶ かもしかクラブ 開講式

かもしかクラブの開講式が5月10日(水)、11日(木)、12日(金)の3日間、町内3保育園で行われました。この内、大石田保育園では12日(金)に行われ、園児や保護者など37人が参加しました。

開講式では、横断歩道を安全に渡るための「ストップのお約束」や子どもの飛び出し防止のための「かもしかつなぎ」などを学びました。後半には、地域おこし協力隊の久保田舞隊員やかもしかクラブのお友だち「とらじろうくん」と「みーちゃん」が登場し、園児と一緒にダンスを楽しみました。



ブックスタートに役立てて 大石田ライオンズクラブが町に寄付金手渡す

大石田ライオンズクラブ(芳賀清会長)が4月19日(水)に役場を訪れ、ブックスタート事業に役立ててもらおうと寄付金を手渡しました。ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタート・パックを手渡し、絵本を介して親子の心が触れ合うひと時を持つきっかけをつくる活動のことです。趣旨に賛同をいただいた同クラブからは4年前から支援金をいただいています。

大変ありがとうございました。



◀葉の裏側に産み付けられた
ヒメギフチョウの卵

ギフチョウ・ヒメギフチョウ 住民らによる産卵数調査

ギフチョウとヒメギフチョウの産卵数調査が、5月9日(火)に川前地区で行われました。川前地区は全国的にも珍しい両種の蝶の混生地となっており、地区民で組織する川前地区ギフチョウ・ヒメギフチョウを保護する会(齋藤忠雄会長)が長年に渡って保護活動を続けています。産卵数調査は同会の活動の一環として、町教育委員会と合同で毎年この時期に行っているもので、今年も同会の会員や学識者など8人が参加しました。参加者は幼虫の食草となるコシノカンアオイやトウゴクサイシンの葉を1枚1枚めくり、卵の数を数えていました。



春の大石田を歩く 新緑のノルディックウォーキング

新緑のノルディックウォーキング教室が5月13日(土)に行われ、町内外から9人が参加し春の大石田町を歩いて楽しみました。ノルディックウォーキングは2本のストックを使って歩くもので、一般的なウォーキングと比べて歩幅が大きくなり、上半身も使うため全身運動になるなど、健康効果が大きい人気のスポーツです。参加者は春らしい陽気の中、虹のプラザをスタートして街中や最上川沿いを歩いて景色を楽しみ、春の大石田を満喫していました。



歌が送られ、選手たちは決意を新たにしていました。

大石田中3年で応援団長の柏倉千隼さんは「今日のために集中して応援の練習をしてきました。選手の皆さんに心のこもった応援歌を届けられたと思います。大会では全力を尽くして目標を達成してほしいです」と話していました。

大石田中生徒が県縦断駅伝 北村山チームを激励

第67回山形県縦断駅伝競走大会に出場する北村山チームの結団式が、4月18日(火)に大石田中学校「体育館」で行われ、選手や大会関係者のほか、大石田中の生徒など約200人が参加しました。

結団式では、村岡町長をはじめ来賓から激励のメッセージが伝えられると、選手たちから大会への意気込みが語られました。式の最後には、大石田中の全校生徒から激励の応援



町民目線で幸せ感じるまちづくり 令和5年度町政懇話会

令和5年度町政懇話会が4月20日(木)に虹のプラザ「なないろホール」で行われ、一般参加の町民の方や町議会議員、各地区の区長など約60人が参加して今年度の町政運営について話し合いました。

はじめに村岡町長が町政の基本方針を説明し、続いて本多教育長が教育方針を、高橋副町長が町の財政状況をそれぞれ説明しました。

その後に行われた意見交換では、町の活性化や住みよい環境づくりに向けた活発な意見が交わられていました。

春の山形路を 駆ける! 第67回山形県縦断 駅伝競走大会



第67回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日(木)~29日(土)の3日間行われ、2日目の28日(金)には大石田町内を各チームのランナー達が駆け抜けました。

今大会には、当町出身の齋藤龍生さん(陸上自衛隊第20普通科連隊)が北村山チームの第1区と23区のランナーとして出場しており、第1区では区間タイム54分57秒で区間2位通過の快走を繰り広げました。チームはその後、一時順位を1位まで上げましたが、総合順位6位の結果となりました。

心一つにたすきをつなぐ姿は見る人に元気を与えてくれました。選手の皆さん、沿道で応援いただいた皆さん、大変ありがとうございました。